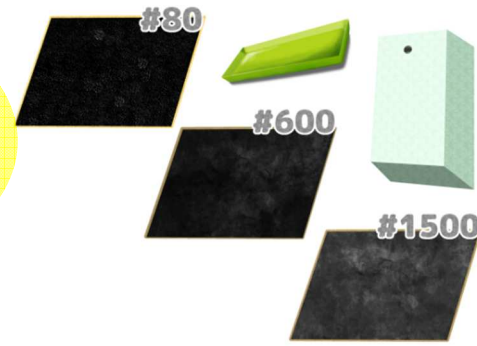


まが玉ペンダントの作り方



<まが玉とは>

まが玉は、6000年前（縄文時代）から1500年前（古墳時代）にかけて作られたアクセサリーです。メノウ・ヒスイ・ガラス・コハクなど貴重な石のほか、牙や骨などでもつくられました。

左の写真は白岡市内にあるタタラ山遺跡から見つかった縄文時代の石製のイヤリングやペンダントです。滑石やメノウなどの石を使って作られています。右の写真も白岡市内にある清左衛門遺跡から見つかったヒスイのペンダントです。

<用意するもの>

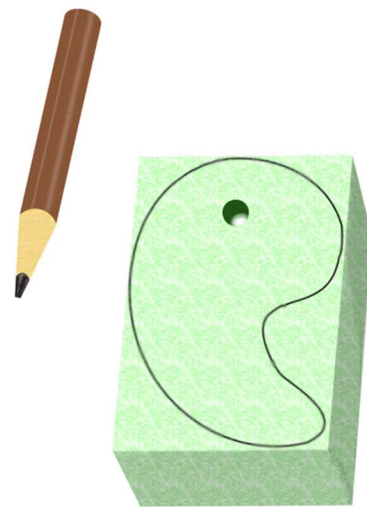
- ①ろう石（ヒモ通し穴が開いたもの）
- ②革ヒモ（90cm程）
- ③ヤスリ（粗用 #80・中粗用 #600・仕上げ用 #1500）
- ④鉛筆・消しゴム
- ⑤トレー
- ⑥水



①形を描く

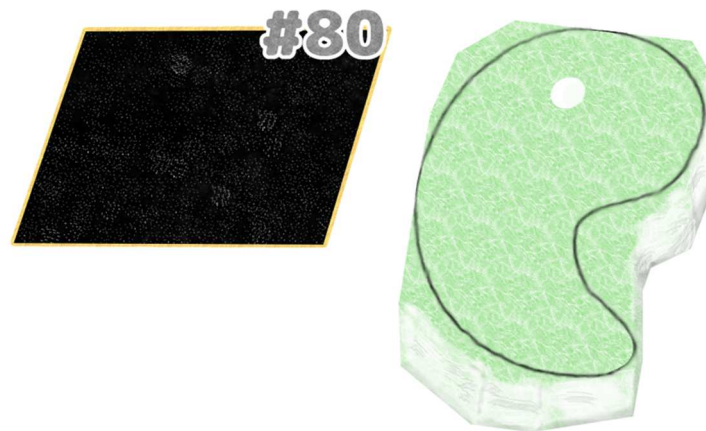
ろう石に作ってみたい形を鉛筆で描きます。

ポイント
なめらかな曲線を描くように描きます。



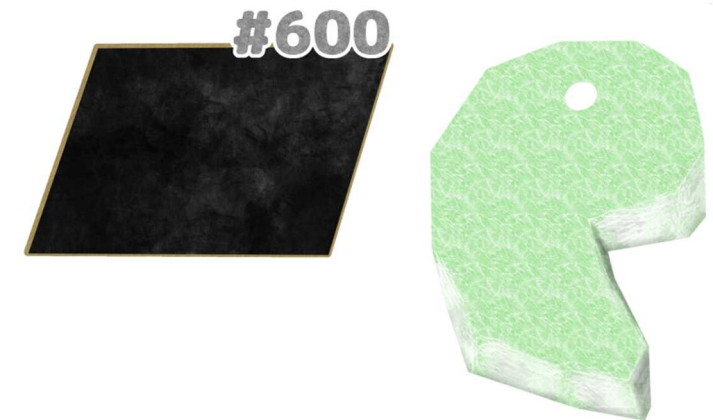
②削る 1

粗用ヤスリで余分なところをけずります。けずった時に出る粉はトレーに落とします。角になる部分がなくなるよう、急入りにけずります。



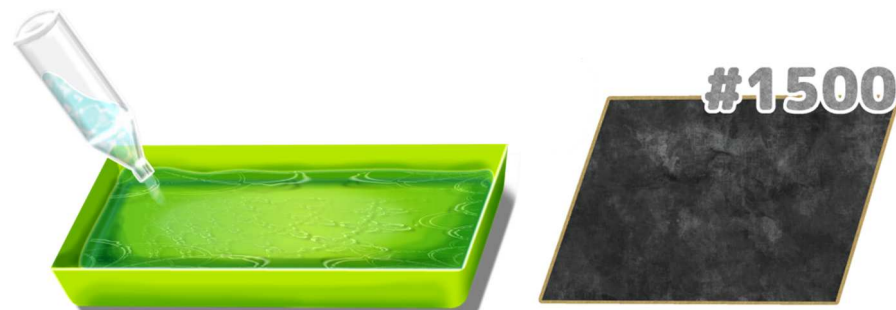
③削る 2

中粗用ヤスリで、ろう石全体をけずります。トレーに粉がたまったら捨てます。全体が丸みをおびるまでけずります。



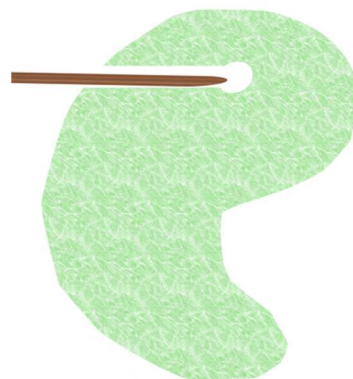
④磨く

トレーにたまった粉を捨てて、水を少量注ぎ入れます。ろう石を水につけて、仕上げ用ヤスリで全体をみがきます。光沢が出るまでみがきあげます。



⑤ヒモを通す

ヒモ穴にヒモを通し、好きな位置で結びます。



完成!

